

# 「酒井法子容疑者」と呼ばれる日がくるなんて想像もできなかつた。



ミニコミ誌の表紙「決意の酒井法子」の文字が見えるかな？

少しだけ、ゲロいたしましよ。

先週、弊社タップハウスの社内で大掃除があり、昔々印刷させていたでいた本がたくさん出てきました。

その中に私が作っていたミニコミ誌（世に言う「同人誌」）もありました。

発行日を見ると、一九九〇年一月一日。

今から大まかにいうと、二十年ほど前のものです。印刷の方法は今とは変わっていません。

ですが、そのミニコミ誌の原稿は、パソコンで作ったものではなく、ワープロからプリントした原稿を、ハサミで切ったノリで貼ったものでした。大きな見出しなどは、ワープロでうまく作れなかつたので、全部手書き。

哀愁漂うというか、懐かしすぎるというか、懐

そんな感傷にひたっている中、ヤフーニュースで、こんな記事を見まし

た。

「酒井法子の夫、覚醒剤所持で逮捕」、そして、「酒井法子は失踪中」とのりピーもたいへんなダンナさんを持つとたいへんだなあ〜と同情していました。

というのも、私が作っていたミニコミ誌は、マンガのミニコミ誌ではなく、「歌謡曲」がテーマのミニコミ誌だったので

大掃除で出てきた約二十年前のミニコミ誌。そこには、「決意の酒井法子」というミニ特集を組んでいました。

（だから、ひとつ決めていることがある。いつか酒井法子も「のりピー」でいられなくなる。〜との文章を書いてくださった方の記事をメインにしたものです。

酒井法子さんのあの当時のあの笑顔は作り物。そんなことは誰もが感じていたことでしょう。でも、あの当時の私た

もちろん今回も、社長の目を通らずに掲載です。そらそうだなあ。

ちは、それでも、（その日のために、僕は、酒井法子というひとりの女の子の味方である。〜と書かれた方と同じ気持ちを持っていました。

そうこうするうちに、「酒井法子容疑者」、その言葉とともに、「逃亡中」なんて言葉がくつついた記事が、ヤフーニュースに載りました。

「酒井法子容疑者」「容疑者」「容疑者」…。悲劇のヒロインから天下の大悪人へ。

それでも、私たちは二十年前と同じ気持ちでいられるか。

まさか、二十年経ってから、試される日がくるなんて思いもしてませんでした。

(T)